



奈良県感染症情報

令和3年 第9週(3月1日～3月7日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 新型コロナウイルスの変異について

◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	2.74	(1.82)	↗	↘	↑	↑
2	突発性発しん	0.44	(0.32)	↑	→	↑	↑↑
3	A群溶連菌咽頭炎	0.41	(0.56)	→	↗	↘	↓
4	咽頭結膜熱	0.38	(0.35)	↑	↑↑	→	↑
5	水痘	0.21	(0.03)	↑↑	↑↑	↑↑	→

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆県内概況◆

定点把握感染症の報告数は例年に比べ少ない状況が続いていますが、感染性胃腸炎が増加しています。春先に流行する胃腸炎の原因の1つにロタウイルスがあり、ロタウイルスによる胃腸炎は、乳幼児(0～6歳頃)に多く、水のような下痢、吐き気、嘔吐などの症状が出ます。ロタウイルスワクチンの予防接種は重症化予防に有効で、乳幼児の定期接種であり、適切な期間内に忘れないように接種することが大切です。

新型コロナウイルス感染症について、県内の第9週における新規感染者は、事業所におけるクラスター事例もあり、46名と前週より増加しました。また、変異株検査を全国の地方衛生研究所で実施することになり、保健研究センターでも、3月1日の陽性検体から検査を実施しています。引き続き、石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒、外出時のマスク着用などの基本的な感染対策を行うとともに、会食などの外出を控え、3密(密閉・密集・密接)を避けるといった「うつらない・うつさない」行動の徹底をお願いします。

◆新型コロナウイルスの変異について◆

ウイルスは流行していく中で少しずつ変異を起こしていきます。この変異したウイルスが変異株です。変異が起こると性質の変化が起こり、感染しやすくなる場合等があります。新型コロナウイルスについても、約2週間で1カ所程度の速度で変異していると考えられています。

現在、従来よりも**感染しやすい**、**重症化しやすい可能性のある変異株**や、**ワクチンが効きにくい可能性のある変異株**が世界各地で報告されています。日本では、変異株のクラスターが複数報告され、海外とのつながりが無い事例も継続して確認されていますが、地域で広く流行している状況ではありません。

個人の基本的な感染予防策は、変異株であっても、**3密(特にリスキの高い5つの場面の回避、マスクの着用、手洗い**などが、これまでと同様に有効です。

参考: (2021年2月時点) 新型コロナウイルス感染症の「いま」に関する11の知識
 (厚生労働省 HP) <https://www.mhlw.go.jp/content/000749530.pdf>

感染症対策 へのご協力を
 お願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、
 「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

①手洗い **正しい手の洗い方**

- 流水でよく手をぬがし、石けんを塗り、手のひらをよくこすります。
- 手の甲をのぼすようにこすります。
- 指先・手の指をこすりこぎます。
- 指の間を洗います。
- 親指と手のひらをこすりこぎます。
- 手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で洗い、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取ってください。

②咳エチケット **3つの咳エチケット**

咳やくしゃみをするときは、肘の内側またはティッシュペーパーで口を覆う。手で口を覆う。手で口を覆う。

正しいマスクの着用

- 鼻と口の両方を確実に覆う。
- 顔の両側をしっかりと覆う。
- 鼻がはみ出ないように鼻を覆う。

耳鼻科や眼科、学校など人が集まる場所での着用

厚生労働省 国民生活指針 厚生労働省

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 3 年 第 9 週 3 月 1 日 ~ 7 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ								
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	1 (0.03)		1 (0.11)					
咽頭結膜熱	13 (0.38)	1 (0.11)	5 (0.56)	3 (0.43)	3 (0.50)		1 (0.50)	
A群溶連菌咽頭炎	14 (0.41)	3 (0.33)	5 (0.56)	3 (0.43)	3 (0.50)			
感染性胃腸炎	93 (2.74)	13 (1.44)	6 (0.67)	27 (3.86)	42 (7.00)	4 (4.00)	1 (0.50)	
水痘	7 (0.21)	4 (0.44)	1 (0.11)	1 (0.14)			1 (0.50)	
手足口病								
伝染性紅斑								
突発性発しん	15 (0.44)	3 (0.33)	1 (0.11)	2 (0.29)	8 (1.33)		1 (0.50)	
ヘルパンギーナ								
流行性耳下腺炎	1 (0.03)			1 (0.14)				
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	2 (0.20)			1 (0.50)	1 (0.50)			
葛城定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎								
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核3件(中和2、内吉野1)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症1件(奈良市1) 梅毒1件(奈良市1)

❖ 第9週のトピックス ❖

◆新型コロナウイルス感染症(COVID-19) 2020年12月現在
(IASR Vol. 42 p27-28: 2021年2月号)
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov/2547-isc/iasr-topic/10175-492t.html>

◆日本における感染・伝播性の増加や抗原性の変化が懸念される新型コロナウイルスの新規変異株症例について(2021年2月26日時点) (国立感染症研究所)
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov/10221-covid19-37.html>

◆新型コロナウイルスを不活化する新規複合酸化物を開発 (奈良県)
<http://www3.pref.nara.jp/hodo/item/67256.htm#item67256>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男女																							
RSウイルス感染症	男女				1																	1	21	
咽頭結膜熱	男女		1	2	2	4																9	50	
A群溶連菌咽頭炎	男女				1	2			2	1	1											7	67	
感染性胃腸炎	男女		3	9	10	2	10	2	2	2	2			1	4							49	325	
水痘	男女		1	2					3	4	3	1	3		6							44	260	
手足口病	男女						1	2	1													3	12	
伝染性紅斑	男女																					4	15	
突発性発しん	男女			5	4																	9	49	
ヘルパンギーナ	男女			2	4																	6	39	
流行性耳下腺炎	男女									1												1	2	
急性出血性結膜炎	男女																						1	
流行性角結膜炎	男女														1							1	11	
細菌性髄膜炎	男女																						1	
無菌性髄膜炎	男女																						1	
マイコプラズマ肺炎	男女																						1	
クラミジア肺炎	男女																							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男女																						1	

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

